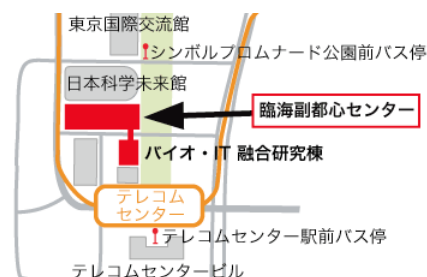


国連科学委員会福島報告書 をいかに活用するか

日時・場所

2014年11月9日（日） 10:30～12:00

産業技術総合研究所 臨海副都心センター 別館 11F 会議室1



対象

科学コミュニケーター、教員など、科学コミュニケーションの実践者及び研究者（定員50名） ※事前登録制



■プログラム

- 10:30 - 11:00 UNSCEARとは、福島報告書の概要、今後の見通し（UNSCEAR）
- 11:00 - 11:20 市民向けの講演、カウンセリングの取り組みについて（半谷）
- 11:20 - 11:40 登壇者、司会者、コメンテーターによるパネルディスカッション
- 11:40 - 12:00 登壇者、司会者、コメンテーターと参加者のディスカッション

■登壇者

Wolfgang Weiss (Chair, UNSCEAR Fukushima Report)
Stephen Solomon (Group Leader, UNSCEAR Fukushima Report)
Lynn Hubbard (Lead Writer, UNSCEAR Fukushima Report)
Malcolm Crick (Secretary to UNSCEAR)
半谷輝己（福島県の地域メディアエーター）

■司会 渡辺政隆（JST科学コミュニケーションセンターフェロー）

■コメンテーター 小島正美（毎日新聞編集委員）

国連科学委員会（UNSCEAR）とは、1955年に設置された、科学分野の専門家だけで構成される国連の委員会です。

2014年4月、UNSCEARは、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射線被ばくとその影響について評価した内容をまとめた報告書を刊行しました。専門家でない人には難しい科学的記述を含むこの報告書の内容を、広く日本の人々に活用してもらうことを狙いとして、パネルディスカッションを行います。※本イベントは、英語から日本語への通訳があります。

※報告書はこちらからダウンロードできます：http://www.unscear.org/unscear/en/publications/2013_1_JP.html

申込み

参加ご希望の方は必要事項をご記入のうえ、11月5日（水）までにEmailにてお申し込みください。

申込み先：科学コミュニケーションセンター企画・研究グループ

氏名、年齢、ご所属、役職、メールアドレスをご記入のうえ、csc@jst.go.jpへお送りください。

■主催：原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）

■共催：科学技術振興機構（JST）科学コミュニケーションセンター
一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会（JASC）
ミドルメディア実行委員会

お問合せ

JST科学コミュニケーションセンター企画・研究グループ

■E-mail csc@jst.go.jp

■TEL (03) 5214 7625